



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月5日

上場会社名 株式会社北洋銀行

上場取引所 東 札

コード番号 8524 URL <https://www.hokuyobank.co.jp/>

代表者 （役職名）取締役頭取 （氏名）津山 博恒

問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員経営企画部長 （氏名）野際 卓司 （TEL）011-261-1311

配当支払開始予定日 2025年9月1日

特定取引勘定設置の有無： 無

決算補足説明資料作成の有無： 有

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満、小数点第1位未満は切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	43,811	29.8	8,115	9.9	5,909	12.8
2025年3月期第1四半期	33,752	3.0	7,379	54.3	5,236	62.1

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 17,192百万円（－％） 2025年3月期第1四半期 △29,460百万円（－％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	15.69	15.69
2025年3月期第1四半期	13.66	13.65

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	13,281,602	396,879	2.9
2025年3月期	13,446,736	384,411	2.8

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 393,144百万円 2025年3月期 380,465百万円

（注）「自己資本比率」は、（期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分）を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	6.50	—	12.50	19.00
2026年3月期	6.50				
2026年3月期（予想）		6.50	6.50	6.50	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	85,300	24.1	16,000	35.9	11,000	30.1	29.21
通期	173,300	15.0	34,800	23.9	24,300	17.9	64.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	378,060,179株	2025年3月期	399,060,179株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,520,994株	2025年3月期	22,520,864株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	376,539,238株	2025年3月期1Q	383,267,374株

（注）当行は役員報酬BIP信託を導入しています。このため期末自己株式数には、当該信託が保有する当行株式（2026年3月期1Q 1,165,036株、2025年3月期 1,165,036株）を含めております。また、期中平均株式数については、当該信託が保有する当行株式の期中平均株式数（2026年3月期1Q 1,165,036株、2025年3月期1Q 1,330,970株）を控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象の注記)	7

※2026年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息の増加による資金運用収益の増加及び株式等売却益の増加によるその他経常収益の増加を主因に前第1四半期連結累計期間比100億円増加し、438億円となりました。一方、経常費用は、預金利息の増加による資金調達費用の増加及び国債等債券売却損の増加によるその他業務費用の増加を主因に前第1四半期連結累計期間比93億円増加し、356億円となりました。

これらの結果、経常利益は前第1四半期連結累計期間比7億円増加し、81億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前第1四半期連結累計期間比6億円増加し、59億円となりました。

なお、セグメントの業績につきましては、銀行業の経常収益は前第1四半期連結累計期間比93億円増加し378億円、経常利益は同8億円増加し91億円となりました。また、リース業の経常収益は前第1四半期連結累計期間比1億円増加し60億円、経常利益は同62百万円増加し2億円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、現金預け金は2兆3,927億円と前連結会計年度比2,609億円減少いたしました。貸出金は7兆9,238億円と前連結会計年度比676億円増加いたしました。有価証券は2兆6,254億円と前連結会計年度比268億円増加いたしました。預金及び譲渡性預金は11兆152億円と前連結会計年度比1,551億円減少いたしました。

これらの結果、総資産は13兆2,816億円と前連結会計年度比1,651億円減少し、負債は12兆8,847億円と同1,776億円減少、純資産は3,968億円と同124億円増加いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2025年5月13日公表の数値から変更ありません。

なお、この業績予想は当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
現金預け金	2,653,639	2,392,729
コールローン及び買入手形	516	519
買入金銭債権	6,828	5,681
商品有価証券	1,763	1,763
有価証券	2,598,690	2,625,495
貸出金	7,856,186	7,923,881
外国為替	5,803	6,461
リース債権及びリース投資資産	61,165	61,753
その他資産	132,680	135,000
有形固定資産	71,675	72,688
無形固定資産	15,847	14,938
退職給付に係る資産	1,811	1,852
繰延税金資産	14,884	8,735
支払承諾見返	68,166	73,952
貸倒引当金	△42,921	△43,850
資産の部合計	13,446,736	13,281,602
負債の部		
預金	11,096,231	10,777,122
譲渡性預金	74,198	238,145
売現先勘定	—	1,373
債券貸借取引受入担保金	801,284	799,836
借入金	899,888	888,218
外国為替	161	217
その他負債	114,947	99,776
賞与引当金	1,536	390
株式給付引当金	159	175
退職給付に係る負債	1,487	1,403
睡眠預金払戻損失引当金	895	796
ポイント引当金	306	346
特別法上の引当金	19	19
繰延税金負債	1,267	1,173
再評価に係る繰延税金負債	1,775	1,775
支払承諾	68,166	73,952
負債の部合計	13,062,325	12,884,723
純資産の部		
資本金	121,101	121,101
資本剰余金	74,753	74,742
利益剰余金	193,187	186,500
自己株式	△8,351	△465
株主資本合計	380,690	381,877
その他有価証券評価差額金	△3,661	7,843
土地再評価差額金	3,378	3,378
退職給付に係る調整累計額	58	43
その他の包括利益累計額合計	△224	11,266
新株予約権	14	14
非支配株主持分	3,931	3,720
純資産の部合計	384,411	396,879
負債及び純資産の部合計	13,446,736	13,281,602

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
経常収益	33,752	43,811
資金運用収益	19,338	27,162
（うち貸出金利息）	14,846	20,223
（うち有価証券利息配当金）	3,737	4,175
役務取引等収益	7,314	7,581
その他業務収益	6,321	6,366
その他経常収益	778	2,700
経常費用	26,372	35,695
資金調達費用	682	5,505
（うち預金利息）	424	4,220
役務取引等費用	3,216	3,860
その他業務費用	5,287	7,342
営業経費	16,942	17,639
その他経常費用	244	1,346
経常利益	7,379	8,115
特別利益	9	—
固定資産処分益	9	—
特別損失	44	58
固定資産処分損	30	58
減損損失	14	0
税金等調整前四半期純利益	7,344	8,056
法人税、住民税及び事業税	1,340	1,614
法人税等調整額	938	689
法人税等合計	2,279	2,304
四半期純利益	5,065	5,752
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△170	△157
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,236	5,909

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	5,065	5,752
その他の包括利益	△34,525	11,440
その他有価証券評価差額金	△34,449	11,455
退職給付に係る調整額	△76	△14
四半期包括利益	△29,460	17,192
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28,845	17,400
非支配株主に係る四半期包括利益	△614	△207

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	26,908	5,797	32,705	1,379	34,085	△332	33,752
セグメント間の内部経常収益	1,577	80	1,658	663	2,321	△2,321	—
計	28,485	5,878	34,363	2,043	36,406	△2,654	33,752
セグメント利益	8,306	160	8,467	199	8,666	△1,286	7,379

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業を含んでおります。

3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△332百万円は、貸倒引当金戻入益の調整であります。

4. セグメント利益の調整額△1,286百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

「銀行業」セグメントにおいて、稼働資産（土地、建物等）及び遊休資産（土地、建物等）について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、14百万円であります。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	36,324	5,986	42,311	1,505	43,817	△5	43,811
セグメント間の内部経常収益	1,498	78	1,576	673	2,250	△2,250	—
計	37,822	6,064	43,887	2,179	46,067	△2,256	43,811
セグメント利益	9,150	222	9,372	△24	9,348	△1,232	8,115

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業を含んでおります。

3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△5百万円は、貸倒引当金戻入益の調整であります。

4. セグメント利益の調整額△1,232百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

「銀行業」セグメントにおいて、稼働資産（土地、建物等）及び遊休資産（土地、建物等）について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、0百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当行は、2025年4月30日開催の取締役会決議に基づき、2025年5月30日付で自己株式21,000,000株の消却を実施したことにより、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ7,885百万円減少しました。

自己株式の消却により、資本剰余金のうちその他資本剰余金の残高が△7,875百万円となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

この結果等により、当第1四半期連結会計期間末において、利益剰余金は前連結会計年度末から6,687百万円減少し186,500百万円、自己株式は7,885百万円減少し465百万円となりました。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	2,446百万円	2,466百万円

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

2026年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 損益状況【単体】

- ・コア業務純益は、資金利益の増加を主因としたコア業務粗利益の増加などから、90億円と前年比18億円の増加となりました。
- ・経常利益は、91億円と前年比8億円の増加となりました。
- ・四半期純利益は、68億円と前年比7億円の増加となりました。

(単位：百万円)

	2024年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	前年比	2025年度中間期 (業績予想)
経常収益	28,485	37,822	9,337	71,800
コア業務粗利益	23,159	25,535	2,376	49,900
資金利益	20,097	22,802	2,705	
役務取引等利益	2,754	2,234	△520	
その他業務利益（注1）	307	499	192	
経費（除く臨時処理分）	15,946	16,454	508	33,900
コア業務純益（注2）	7,212	9,081	1,869	16,000
除く投資信託解約損益	7,212	9,081	1,869	
貸倒償却引当費用	△374	568	942	2,000
有価証券関係損益	151	31	△120	
国債等債券関係損益	60	△1,912	△1,972	
株式等関係損益	90	1,943	1,853	
その他の経常損益	568	605	37	
経常利益	8,306	9,150	844	16,000
特別損益	△35	△58	△23	
税引前四半期純利益	8,271	9,091	820	
法人税等	2,167	2,274	107	
四半期（当期）純利益	6,103	6,816	713	11,400
実質業務純益	7,272	7,169	△103	
業務純益	7,272	7,029	△243	

（注）1. その他業務利益は国債等債券関係損益を含みません。

2. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費（臨時処理分を除く）

2. 主要勘定等残高（平均残高・期末残高）【単体】

- ・資金量平残は、10兆9,791億円と前年比468億円の増加となりました。うち法人預金は前年比37億円の減少、個人預金は同626億円の増加、地方公共団体・金融預金は同120億円の減少となりました。
- ・資金量末残は、11兆320億円と前年比476億円の減少となりました。
- ・預り資産末残は、3,320億円と前年比554億円の増加となりました。

（1）資金量・預り資産等

（平均残高）

（単位：億円）

	2024/6期	2025/6期	前年比	2025/3期	2025/3期比
資金量	109,323	109,791	468	108,902	889
法人預金	30,973	30,936	△37	30,360	575
個人預金	69,472	70,098	626	69,956	141
地方公共団体・金融預金	8,877	8,756	△120	8,584	172

（期末残高）

（単位：億円）

	2024/6末	2025/6末	前年比	2025/3末	2025/3末比
資金量	110,797	110,320	△476	111,871	△1,551
預り資産	2,765	3,320	554	3,061	258
公共債保護預り	1,192	1,678	486	1,532	146
投資信託	1,572	1,641	68	1,529	112
合計	113,562	113,640	78	114,933	△1,292

（注）資金量＝預金＋譲渡性預金

- ・貸出金平残は、事業者等で増加したことから、7兆9,502億円と前年比4,894億円の増加となりました。
- ・貸出金末残は、7兆9,902億円と前年比5,027億円の増加となりました。うち中小企業等貸出金は、前年比872億円の増加、北海道内向け貸出金は同2,443億円の増加となりました。
- ・有価証券末残は、2兆6,261億円と前年比690億円の増加となりました。

(2) 貸出金

(平均残高)

(単位：億円)

	2024/6期	2025/6期	前年比	2025/3期	2025/3期比
貸出金	74,607	79,502	4,894	76,591	2,910
事業者	29,966	34,692	4,726	32,080	2,612
個人	22,349	22,957	608	22,577	380
地方公共団体等	22,292	21,852	△440	21,934	△82

(注) 地方公共団体等には国及び土地開発公社を含む

(期末残高)

(単位：億円)

	2024/6末	2025/6末	前年比	2025/3末	2025/3末比
中小企業等貸出金	42,297	43,170	872	43,600	△430
貸出金	74,874	79,902	5,027	79,192	709
北海道内向け貸出金	58,210	60,653	2,443	59,669	983

(3) 有価証券

(期末残高)

(単位：億円)

	2024/6末	2025/6末	前年比	2025/3末	2025/3末比
有価証券	25,571	26,261	690	25,992	269

3. 自己資本比率（国内基準）

2025年6月末の自己資本比率（国内基準）については、現在算出中であり、計数が確定次第、別途開示する予定です。

4. 有価証券の評価損益

・有価証券評価損益は、68億円と2025年3月末対比169億円の増加となりました。

【単体】

(単位：億円)

	2025/3末			2025/6末			
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	2025/3末比	評価益	評価損
その他有価証券	△101	1,005	1,106	68	169	1,041	972
株式	951	951	0	939	△12	939	0
債券	△1,068	0	1,069	△953	115	1	955
その他	16	52	36	83	67	100	17
日経平均株価	35,617円			40,487円			
新発10年国債利回	1.485%			1.420%			

5. 銀行法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づく債権

・当該債権は、928億円と前年比11億円の減少となりました。
 ・開示債権比率（部分直接償却後）は、0.90%と前年比0.06ポイント改善いたしました。

【単体】

(単位：億円)

	2024/6末	2025/6末	前年比	2025/3末	2025/3末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	359	352	△7	351	0
危険債権	435	454	18	453	1
要管理債権	145	122	△22	106	15
三月以上延滞債権	4	2	△2	3	△0
貸出条件緩和債権	140	119	△20	102	16
合計	940	928	△11	911	17
部分直接償却後	733	735	1	720	14
正常債権	75,567	80,563	4,995	79,803	759
総与信額	76,507	81,492	4,984	80,715	777
部分直接償却後	76,300	81,298	4,997	80,524	774

<総与信に占める開示債権の比率>

(単位：%)

開示債権比率	1.22	1.13	△0.09	1.12	0.01
部分直接償却後	0.96	0.90	△0.06	0.89	0.01

(注) 部分直接償却は未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。